

欧州特許庁，中国国家知識産権局と機械翻訳ツールの提供に向けた協力に合意

2011年11月30日

JETRO デュッセルドルフ事務所

欧州特許庁（EPO）は，11月29日，重慶で開催された中国国家知識産権局（SIPO）との二庁間協力の年次会合において，特許情報への公共のアクセスの言語的障壁を取り除くために，世界特許システムと世界の技術情報の普及に著しい影響を与える合意に達した旨，プレスリリースを行った。

同プレスリリースによれば，両庁は，翌年までに中国語と英語の特許文献のための機械翻訳ツールを，無料かつインターネットで容易に公共が利用することを確実にするために，共同で作業を行うことに合意したとしている。

両庁は，2010年9月10日に既に機械翻訳の協力について合意しており，特にEPOは出願件数が急増している中国の特許文献に対して対応するため，機械翻訳の開発についての重点的な取り組みを進めている。EPOの審査官向けのサーチ端末においては，既に中国語と英語の機械翻訳が提供されているが，今回の合意によって，翌年にはユーザーからの機械翻訳の利用も可能になることが期待される。

EPOのバティステリ長官は，プレスリリースにおいて次のとおりコメントしている。「本合意は，特許に含まれる豊富な技術を両方の地域のイノベーターに対して利用可能とし，境界要素としての言語を取り除くという点において，双方の地域間の関係を新たに開拓するものである。特許の情報としての機能は，高く評価してもし過ぎることではない。イノベーションは世界市場であり，特許文献のそれぞれの蓄積を英語および中国語で研究者，科学者，イノベーターにアクセス可能とすることによって，EPOとSIPOは，両地域のイノベーション過程の世界的レベルでの強化に貢献する。特に，研究機関や中小企業は，新しい技術に関する情報へのアクセス改善によって，利益を得る立場にある。」

－ EPOのプレスリリースは，以下参照 －

[Major breakthrough in enhancement of the global patent system: EPO and SIPO sign agreement on Chinese-English machine translation for patents](#)

－ EPOとSIPOの機械翻訳の協力に関する2010年9月10日の合意についての欧州知的財産ニュースは，以下参照 －

[欧州特許庁，中国国家知識産権局と機械翻訳の協力に合意（2010年9月15日）（PDF）](#)

（以上）